

八頭町地球温暖化対策実行計画の実施状況の公表 (平成27年度実績)

削減目標

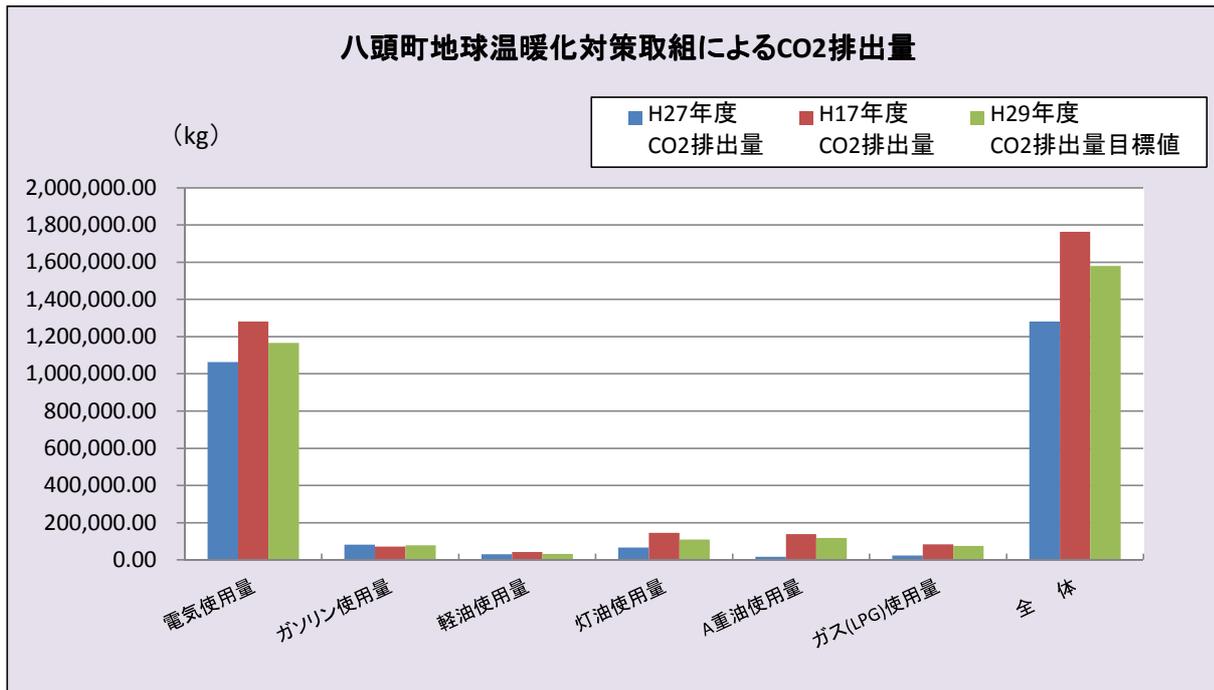
本計画は、平成22年8月に平成21年度実績をもとに目標値を見直し、平成24年度の二酸化炭素を対象とした温室効果ガス総排出量を、平成17年度対比で9.0%削減することを目指してきました。現在、計画第2期(平成25年度～平成29年度)として、二酸化炭素を対象とした温室効果ガス総排出量を、平成17年度対比で10.0%削減することを目標として取組みを進めています。

各取組項目別の削減目標と平成27年度使用状況

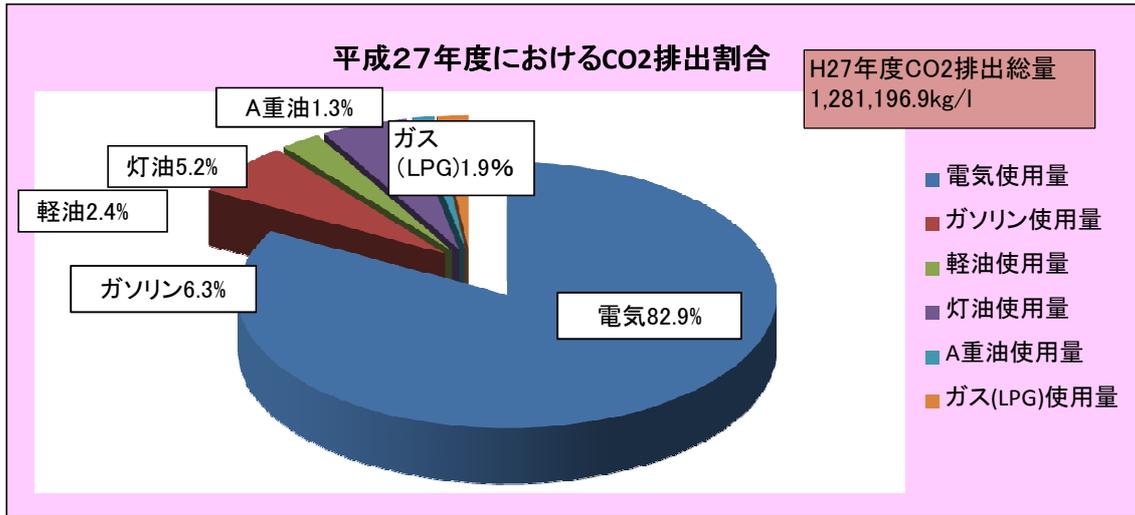
項目	平成29年度目標 (対平成17年度比)	単位	(基準年) 平成17年度 使用量等	平成27年度 使用量等	平成27年度 CO ₂ 排出量 (kg/l)	使用量等 削減率	平成27年度 達成状況
電気使用量	9%以上削減	kwh	1,760,822.0	1,498,795.0	1,062,645.7	14.9%	○
ガソリン使用量	9%増までに抑制	ℓ	30,876.5	34,916.6	81,006.5	-13.1%	×
軽油使用量	24%以上削減	ℓ	16,463.5	12,088.5	31,188.3	26.6%	○
灯油使用量	24%以上削減	ℓ	58,020.0	26,608.0	66,253.9	54.1%	○
A重油使用量	15%以上削減	ℓ	51,126.0	6,000.0	16,260.0	88.3%	○
ガス(LPG)使用量	11%以上削減	m ³	12,713.5	3,612.5	23,842.5	71.6%	○
紙使用量	可能な限り削減	枚	—	1,851,677.0	—	21.1%	—
水道使用量	可能な限り削減	m ³	—	25,238.3	—	(※42.6%)	○
可燃物排出量	可能な限り削減	kg	—	41,578.3	—	(※-5.3%)	×
グリーン購入	環境配慮型製品の 積極的購入適合率	%	—	99.1	—	(※11.5%)	○
全体	CO ₂ 排出量を10%削減	平成17年度CO ₂ 排出量		1,762,918.1		27.3%	○
		平成27年度CO ₂ 排出量		1,281,196.9			

(注)表のうち、()の数値はH17年度使用量とH27年度使用量で算出した削減率

取組状況



■ エネルギー別CO₂排出割合



■ 各項目ごとの取組結果

項目	取組結果
電気使用量	目標値(対H17年度実績値)9%以上削減に対して、14.9%減となりました。H26年度の削減率より3.1%増加していますが、H26年度は本庁舎の耐震工事に伴い一時的に本庁舎の使用量が減ったこと、男女共同参画センター内プール修繕によりプールを停止したこと等により電気使用量が一時的に減りました。H27年度は機構改革により、本庁舎内に部署が増えたり、中央公民館の空調の燃料が重油から電気へ切り替えられたこと等、昨年度に比べると電気使用量が増えましたが、H25年度以前から比べると削減量は増えており、クールビズやウォームビズの取組み、こまめな室温湿度の確認による適切な空調使用等日々の取組みの積み重ねが結果として削減へつながったと思われまますので、継続して取組を行います。
ガソリン使用量	目標値(対H17年度実績値)9%増までの抑制に対して13.1%増という結果となりました。増加傾向であったH25年度の使用量を境に、H26年度から改善が進み、今年度は更に改善することができました。公用車の使用回数の減少や乗り合わせ、また公用車の電気自動車導入等によりガソリン使用量が減ったと考えられます。引き続き『公用自動車使用手順書』によりエコ運転に心がけ、電気自動車を有効に活用しながらH29年度目標である9%増までの抑制を目指し、取組を行います。
軽油使用量	目標値(対H17年度実績値)24%以上削減に対して、H27年度は26.6%削減されました。マイクロバスの適正な使用、トラックやダンプ等の大型車両の使用が減ったこと等が主な理由と考えられます。マイクロバスやトラックやダンプ等の車両の利用回数や運行距離等により使用量が変わりますが、引き続き適切な利用及び経済的な走行を心掛け、更なる削減を目指します。
灯油使用量	目標値(対H17年度実績値)24%以上削減に対して、H27年度は54.1%と昨年度の30.1%を上回る削減となりました。主に、中央公民館の空調を電化したこと、また保育所や庁舎の暖房による使用量が減ったことが理由と考えられます。また、灯油使用施設における職員の意識改革やウォームビズへの取組み、こまめな温度湿度チェックによる暖房の適正使用、町民への啓発に努めた結果であると考えられますので、今後も取組を継続し更なる削減を目指します。
A重油使用量	目標値(対H17年度実績値)15%以上削減に対して、88.3%の削減となりました。H27年度から中央公民館の空調が電化したり、八東保育所でのA重油による暖房使用がなくなったことが主な理由と考えられます。A重油による暖房を使用する施設が減ってきておりますが、引き続き使用する施設において、今後も業務への支障や健康面等に留意しながら、削減への取組みを継続していきます。
ガス(LPG)使用量	目標値(対H17年度実績値)11%以上削減に対して、71.6%の削減ができました。H24年度の学校給食共同調理場の統合及びオール電化によりLPガスの使用量が大幅に減ったものの、昨年度までは使用量がほぼ横ばいとなっておりましたが、各部署がガスの使用削減に努めた結果、H27年度は更に削減することができました。今後も業務への支障をきたさないよう無駄を省きながら、削減に向けた取組みを推進します。
紙使用量	H23年度の購入量を根拠として集計を行っていますが、それ以降H24年度の2,056,850枚を最低とし、年々増加傾向にありました。しかし、H27年度はH23年度より2割程度削減することができました。ミスコピーの抑制で無駄を省いたり、資料の再利用や裏面使用の徹底により紙を有効活用する取組みの成果と考えます。今後もミスコピーの削減や裏面使用等に努め、削減に向けた取組みを行います。
水道使用量	目標値(対H17年度実績値)可能な限り削減に対して、昨年度より少ない42.7%の削減となりました。主に中央公民館の漏水、また八東庁舎トイレの井戸水から上水道への切り替えにより使用量が増えたことが理由と考えられます。今後もすべての施設において節水に心掛け、漏水の早期発見に努め、啓発を行っていきます。

可燃物排出量	目標値(対H17年度実績値)可能な限り削減に対して、H27年度は6%の増となりました。機構改革や保育所の統廃合等により多くの廃棄物が排出されたことによるものであると考えられます。ただ、H24年度以降増え続けていた排出量が、H27年度は減少となりました。今後も分別を徹底し、リサイクルできるものは資源として排出し、可燃物の削減に努めます。
グリーン購入	目標は「環境配慮型製品の積極的購入」で、H27年度のグリーン購入適合率は99.1%でした。H17年度に比べ、購入率は11.7%の増です。代用品がないものを除き、グリーン購入基本方針に基づき、指定物品の100%グリーン購入を目指します。

■ その他の取組

ペットボトルキャップリサイクル

町内の公共施設にペットボトルキャップの回収ボックスを設置。住民の方からもキャップの回収を行い、回収業者へ引き渡しています。

※平成27年度中における回収量

191.5kg	約 76,600個
---------	-----------

■ まとめ

平成27年度の二酸化炭素を対象とした温室効果ガス総排出量は、平成17年度と比較して全体で481,721.2(kg/l)削減することができました。これは、27.3%の削減率となり、すでに平成29年度の目標を達成しています。しかし、項目別に見ると未だ達成されず、目標値に届いていない項目もあり、年度によってばらつきも見られます。未だ達成されていないガソリン使用量及び可燃物排出量についての取り組みを強化し、その他の達成済みの項目につきましても現在の削減率を更に増やしていけるよう引き続き目標達成に向けて努力します。

特にガソリン使用量、紙使用量、可燃物排出量については、職員一人一人が更なる削減への意識を高め努力する必要があります。ガソリンの使用量については、再度『公用車使用手順書』に沿った運用を心掛け、公用車を適切に維持管理し、経済的な走行や空調の使用を常に意識し、職員間で連携を取りながら効率的に使用することを推進していく必要があります。また、電気自動車を有効に活用し、今後新規に公用車を導入する際には、できるだけ低公害車を優先するなどの取り組みも必要と考えます。

紙の使用量については、減少傾向に転じたH27年度を境に、更にミスコピーを減らし、できるだけ両面コピー・印刷を実施して、支障のない範囲で裏面使用を積極的に利用したり資料の再利用をするなど、削減に向けて取り組む必要があります。

可燃物排出量については、リサイクル資源となる廃棄物を正しく理解し、分別を徹底することで可燃物排出量を抑制し、また、リサイクルされた製品やリサイクル可能な製品を積極的に購入するなど、全体としての廃棄物の削減及び廃棄時を考えた取り組みも継続していく必要があります。

その他の項目についても、日々の積み重ねが大きな削減につながることを理解し、職員一人一人が省エネや環境保全意識を常に持ちながら、具体的な計画に基づき、日々の取組を継続していきます。